

ＪＡ新はこだて 檜山南部支部花卉振興会におじゃましました！

檜山管内は、道南地域に位置し比較的温暖な気候の中、花の栽培が行われています。今回は、ＪＡ新はこだて檜山南部支部花卉振興会（以下、花卉振興会という）の副会長である、江差町の沢田さんの取り組みを紹介します。

【檜山振興局長に檜山の花を贈呈しました】

昨年９月に、花卉振興会のみなさんが、花束を持って檜山振興局に来庁され、「猛暑が続く草丈が短いまま開花したり、色が抜けるなどの高温障害に見舞われたが、手間暇かけて育てた檜山産の花」と、紹介がありました。檜山振興局長からは「花は心を豊かにし、渡した相手も喜ぶので贈り物に最適」など、花の良さについて懇談しました。

【収穫作業を見学させていただきました】

１０月に、檜山管内で最も大きな面積を占める花「ストック」の収穫作業が行われているので、朝４時に沢田さん宅にお邪魔しました。

待ち合わせ場所に沢田さんの姿はなく、真っ暗な中しばらく周りを探してみると、ビニールハウスですでに収穫作業を始められていました。

電灯やヘッドライトなど一切ない中で収穫は、花が見えない状況でどのように選別しているか疑問でしたが、「真っ暗なハウスの暗がりでも白い花の展開と長さがわかる。暗いときは白い花、ある程度明るくなってきたらピンクの順に収穫する」と、沢田さんに教えていただきました。「日中にゆっくりと作業ができれば負担も少ないけど、気温が高く葉が萎れてしまうから、早朝に収穫をする」と、話していました。

気温約１５度の中、朝４時からハウス２棟のストックの収穫、選別、出荷をパートの方と２人で、全て手作業で行います。

沢田さんのような花生産者の方が朝早くから作業しているからこそ、良質な花をみなさんに提供できるのですね。



ストックの花を収穫している沢田さん

【檜山振興局にひやまの花を飾りました】

去年は、檜山南部支部花き振興会から「旬の花をぜひ檜山振興局庁舎内でPRしたい」ということで、9月にはりんどうを含めた5種類の花、10月には色とりどりのストックを頂き、檜山振興局の職員や、来庁者にも見ていただけるように正面玄関に飾りました。初めての取り組みでしたが、職員からは「檜山で花を栽培しているのを知った」、「花を飾ると華やかになる」、「もっと花の生け方を工夫した方がいい」など、いろいろな意見が出ました。

来年度以降、継続していきたい取り組みの一つです。



9月 りんどうを含めた5種類の花



10月 ストック

【取材を終えて】

全道の切花の中で檜山は1%の作付面積も占めていないですが、花生産者のみなさんは意欲的に花を育てています。取材をしている際も、花のことに関して笑顔で受け答えをしていただいたのが印象的でした。ストックの花言葉は“豊かな愛”、花は沢田さんからの愛情を受け今年度も綺麗に育ったのだと思います。お忙しい中、対応してくださった沢田さん、関係者のみなさん、ありがとうございました。

(平成24年10月取材 檜山振興局農務課)